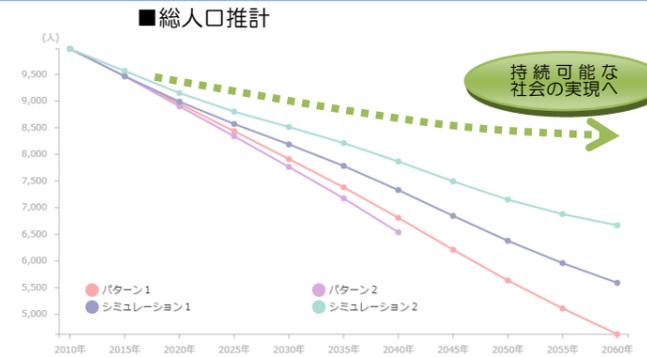


■総合戦略の策定趣旨

川崎町では、若者を中心とした町外への人口流出等による人口減少と超高齢化の進展、地域間競争の激化による地域経済活動の低迷、厳しい町財政等に対応するため、平成23年度に「第5次川崎町長期総合計画」を策定し、川崎らしさを探求・発見・活用するまちづくり「自然と共生したホットなまち」に取り組んできましたが、社会的な少子高齢化等の影響もあり、一貫した人口の減少が続いています。こうした状況の下、川崎町では人口減少に歯止めをかけ、持続可能な人口形態を保持するために、5年間の具体的な戦略を示すこととしました。

■計画期間：2015（H27）年度から2019（H31）年度の5年間



基本目標

I 時代にあった人づくり・地域づくりと安心な暮らしを守る

- 地域社会環境の変化に伴い、新たな時代と町の未来を支える多種多様な人材の育成を目指します。
- 生まれ育った町民や移住者が、高齢になっても安心して住み続けられる環境づくりを推進します。
- 交通不便地域や交通弱者、買い物難民などへの対応として、新たな交通手段の導入を検討します。
- 豊かな自然エネルギーを活用して、低廉で安定したエネルギー社会の実現を目指します。

II 川崎町への新しい人の流れをつくり、定住性を高める

- 移住・定住者の誘致を促進するため、既存ストックの総合的マネジメント体制を強化・充実します。
- 豊かな自然環境と国営みちのく公園を核とした観光要素の魅力を高め、交流人口の拡大を図ります。
- 田舎暮らし志向の増加に対応した受入れ体制づくりとPR活動を推進します。
- U・I・Jターン促進の受入れ体制の整備と、首都圏や仙台市等でのPRや説明会の開催を推進します。
- テレワークの普及促進により、地元就労や雇用機会の創出を支援します。

III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 子育て世代が子どもを安心して産み育て、健やかに成長させることができる環境整備が特に重要であり、結婚・出産・子育ての切れ目ない支援が求められます。
- 婚活パーティや親子の集いなど、若い世代や子育て世代の出会い・交流の場を創出します。
- 子育て家庭への経済的支援など、若い世代の就業と経済的安定化への支援を充実します。
- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現や男女共同参画を推進します。

IV 自然環境や地域特性を生かした雇用の場の確保

- 優位な地理的条件をアピールするとともに、企業誘致活動を推進します。
- 異業種間交流、展示会の開催など既存企業経営の安定・強化のためのサポート体制づくりを推進します。
- みちのく公園利用者などの観光客の町内回遊性を高めて地域経済の活性化につなげます。
- 農業生産物の6次化や観光と一体となった農業経営の振興により農業経営の安定・強化を図ります。
- コミュニティビジネスなどを支援して、若者や女性、高齢者等への起業・就業機会の創出を促進します。

具体的な施策

1. 多種多様な人材の育成
 - ・起業家支援
 - ・地域のタカラさがし
 - ・グローバル化時代にふさわしい人材の育成
2. 住み続けられる環境づくり
 - ・町民の生活を支える便利な中心市街地の形成
 - ・地域コミュニティの形成と町民活動の支援
 - ・安全・安心な暮らしと地域づくり
 - ・長寿社会の確立
3. 利用しやすい公共交通の形成
 - ・各交通の連携
 - ・新たな交通手段の検討
4. 自然エネルギーの活用による低廉で安定したエネルギー社会の実現
 - ・エネルギーの地産地消の推進

1. 移住・定住の支援
 - ・空き家物件の把握と活用
 - ・移住者に対する各種助成
 - ・移住・定住アドバイザーの設置
2. 観光資源を活用したまちづくりと情報発信
 - ・新たな周遊コースの設置
 - ・多彩な観光・スポーツ活動の提供
 - ・情報発信力のさらなる向上
3. 都市住民との交流促進
 - ・グリーンツーリズムの推進
 - ・田舎暮らし志向への対応
4. U・I・Jターンの促進
 - ・受入れ体制の整備とPR活動
5. テレワークによる地元就労や雇用機会の拡大
 - ・テレワークの推進
 - ・地元就労の拡大

1. 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援
 - ・子育て家庭の支援
 - ・心豊かな子ども達の育成
 - ・地域教育力の向上
2. 出会い・交流の場の確保
 - ・若い世代の出会いの場の確保
 - ・関係者による意見交換会の開催
3. 若い世代の経済的安定
 - ・就業の安定化支援
 - ・子育て家庭における経済的負担の軽減
4. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現
 - ・普及啓発
 - ・子育て支援の充実
 - ・男女共同参画の推進

1. 企業誘致
 - ・企業同士の連携強化
 - ・企業誘致に対する企業並びに住民意識の醸成
 - ・新規企業の誘致
 - ・農業・林業の活性化に寄与する企業の誘致
2. 既存企業経営の安定と強化
 - ・経営の近代化サポート体制づくり
3. みちのく公園等を活用した地域経済の活性化
 - ・地場製品の販売・販路の拡大
 - ・町内経済循環の活性化
4. 農林業の振興と雇用機会の創出
 - ・農業経営の安定・強化
 - ・地元生産材の活用
 - ・U・I・Jターンによる新規就農者の推進
5. 新しいビジネス・多様な仕事の創出
 - ・コミュニティビジネス等の創出
 - ・「なりわい」型生活スタイルの支援

数値目標

重要業績評価指標(KPI)	目標値(H31)
インキュベーション施設等の設置	2件/5カ
起業家に対するアドバイスや資金援助	1件/5カ
学校等での故郷を考える機会の創設	2回/年
地場産品活用による食育を通じた地域発見の機会創出	2回/年
地域で行う各種イベントの支援	随時

重要業績評価指標(KPI)	目標値(H31)
空き家物件の把握	全件数/5カ年
移住・定住アドバイザーの設置	5人/5カ年
体験宿泊等の支援（空き家の借入）	1件/5カ年
移住者に対する助成メニューの新設	2件/5カ年
奨学金の創設	2件/年

重要業績評価指標(KPI)	目標値(H31)
婚活パーティの開催	数回/年
子育て支援関係者等による意見交換会	2回/年

重要業績評価指標(KPI)	目標値(H31)
企業連絡協議会の開催	1回/年
まち広報誌による誘致意識の醸成	2回/年
新規企業の誘致	1件/5カ年